

畜

産

Mini Letter



牧草 04

■ 発行：渡島農業改良普及センター（本所） | 【電話】 0138-77-8242

今号

- 基本チェック
- 生産者の事例
- トレンド情報
- その他

地域の畜産農家・関係機関・普及センターが技術情報を通して結ばれるよう、2016年4月に誕生！『基本チェック』、『生産者の事例』、『トレンド情報』の3ジャンルを中心にお届けします。

イネ科雑草「リードカナリーグラス」との付き合い方

サマリー

- ・「リードカナリーグラス」が占有した草地を有効利用するには、次期更新までの管理方法を検討し、飼料として位置づける場合は“早刈り”を行い、そうでないなら“敷料”に仕向けることも考える。
- ・栄養価を最重視するには、1番草は「穂ばらみ期」（出穂前）に草丈80cm程度で刈り取る。

ヨシのようなリードカナリーグラス（RCG）

- ・和名は“クサヨシ”です（略記号：RCG）。草地の難防除雑草の一つで、“地下茎”と“種子”の両方で繁殖します。
 - ・更新して間もないころ、スポット的な群落であったものが、経年化とともに草地内に広がっていきます。（写真1）。
 - ・チモシー等の優良草種と比較すると、葉幅が広く茎も太めで“粗剛”であり、一般に牛の嗜好性は劣ります。
- ※防除体系が確立されたので、別号で紹介します。

栄養価はどう動く 割り切って敷料にも

RCGの占有割合で変わりますが・・・

- ✓ 生育期の進展に伴い、栄養価は低下する
- ✓ 1番草で、TDN60%以上を確保するためには「穂ばらみ期」前後で収穫しなければならない
- ✓ 再生草でのTDNは急激に低下し、1番草刈り後40日が経過すると、50%前後となる
- ✓ 次期更新まで、敷料に仕向けることも考える

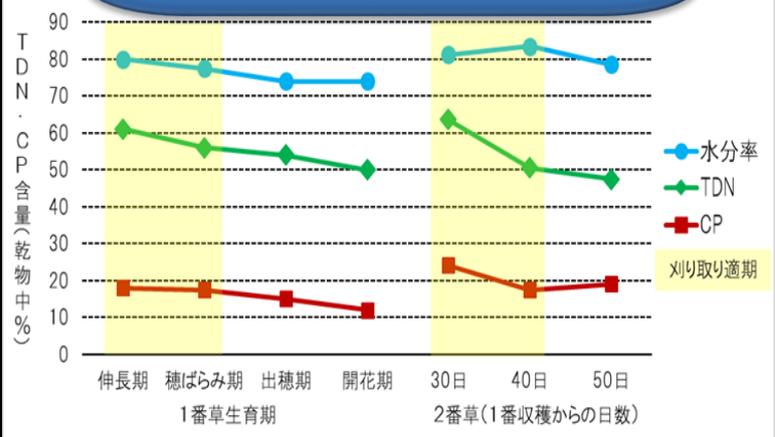
写真1
リードカナリーグラスの出穂
（HI地区：2016年6月15日）



穂の原図
『牧草・毒草・雑草図鑑』p81
（公社）畜産技術協会 発行

競争に弱いチモシー（手前）

生育期別の栄養価〔RCG/生草〕



【参考】チモシーの栄養価

成分組成 * 牛	1番草			再生草	
	出穂前	出穂期	開花期	出穂前	出穂期
水分	81.7	79.9	75.0	81.6	77.1
TDN	73.4	67.6	60.5	65.8	63.1
CP	17.5	10.0	8.8	14.7	11.4

※「日本標準飼料成分表」(2009年版)を抜粋
※生草の場合で、TDNおよびCP値は乾物中%

栄養価を重視するには 草丈80cmで1番草収穫

- ・年1回の刈り取り管理では、RCG以外の雑草の侵入を許し、繁茂を助長する要因になり得ます(⇒植生の悪化)。
- ・“早刈り”の意識で計画的に年3回収穫することで、栄養収量は上がって嗜好性も改善されます(⇒追肥は必要)。
- ・一般に繊維成分(ADF等)が高い草は、栄養価(TDN含量)が低い傾向を示します。RCGの草丈はADF含量との関係が強く、100cmを超えると“食い込めない草”になってしまいます(下図参照)。
- ・1番草の収穫タイミングは生育期での判断ではなく、“草丈”を目安にして「穂ばらみ期」(出穂前)に行います。
※ADF:酸性デタージェント繊維(=繊維成分を表す栄養項目の1つ)

■ 年3回収穫体系 ■

“早刈り”での対応例です！

1番草

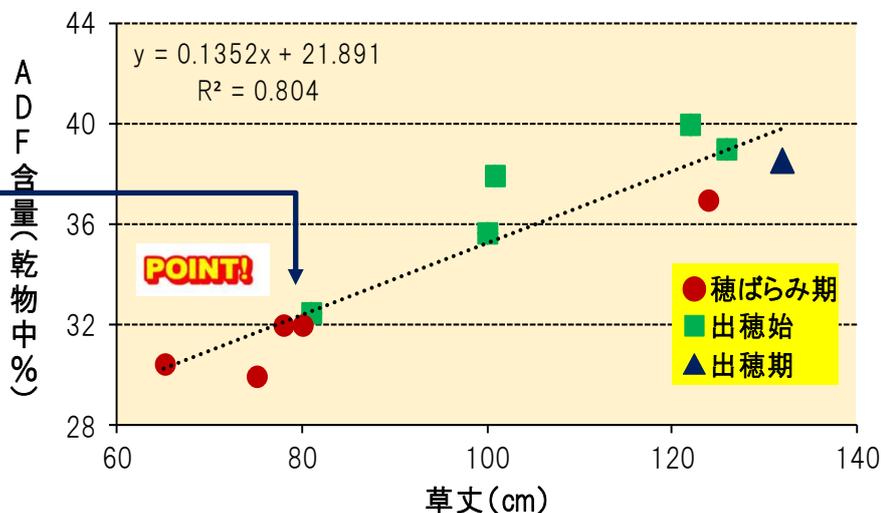
- ・穂ばらみ期、草丈80cm推奨

2番草

- ・刈取り後の生育日数40日程度

3番草 * 秋季の生産性高い

- ・9月上旬ころ



RCG 1番草の草丈とADF含量(乾物中%)

牛に食べてもらう ひと工夫

- ・RGCが占有した草地は、排水不良である場合が多く、収穫機械の入るタイミングが難しい状況もあります。
- ・チモシーに比較して“糖含量”がかなり低いため、サイレージ発酵には大変不利な草種です。
- ・当面の牛への飼料給与、牛舎施設の環境および施肥改善として、以下のポイントに留意しましょう。

■ RCG主体牧草の利用では ■ “搾乳牛”飼養農家では重要です！

○飼料給与

- ・飼槽での掃き寄せ回数を増やす(⇒採食刺激を与える)
- ・暑熱期の給与を控える(⇒他の種類の牧草があれば併給)

○牛舎施設の環境

- ・飼槽表面の凹凸の補修(⇒残飼を清掃しやすい素材に)
- ・給水量の改善(⇒給水配管を太くし循環、給水器の洗浄と吐水量の向上)
- ・換気量の改善(⇒扇風機の設置、風速の向上、障害物の撤去)

○施肥管理(窒素:年間8kg程度)

- ・堆肥の過剰散布に留意(⇒窒素、カリ成分の過剰を避ける)
- ・石灰質資材の施用(⇒土壌pH矯正、マメ科草の衰退防止)



飼槽表面へのレジンコンクリート施工

【出展/参考文献】

- ・上手に使うシリーズ②『リードカナリーグラスの給与事例』(宗谷農業改良普及センター宗谷北部支所)
- ・『リードカナリーグラスの有効利用に関する実証』(ぐらーず46巻第1号/宗谷農改宗谷北部支所:舟橋直人)
- ・『リードカナリーグラスの有効利用について』(雪たねニュースNo.319/上川農試 天北支場:井内浩幸)
- ・『牧草・毒草・雑草図鑑』/(公社)畜産技術協会 発行

現状

- 当地区の草地には「RCG」のみならず、多様な雑草が侵入し、近年の植生調査では“牧草”の割合は概ね半分でした(参照:畜産Mini Letter 牧草01)。
- 更新前後の除草剤の使用法に改善の余地があり、採草利用後の施肥量が少ない傾向にあること、刈り取り回数の抑制等が植生維持を難しくしています。

○詳しくは、渡島農業改良普及センター本所/畜産担当まで、お問い合わせください | 【電話】0138-77-8242

渡島農業改良普及センター ホームページに掲載中

ダウンロードはここから(PDFファイル)

<http://www.oshima.pref.hokkaido.lg.jp/ss/nkc/tec/tikusan.htm>

渡島 営農技術情報

検索